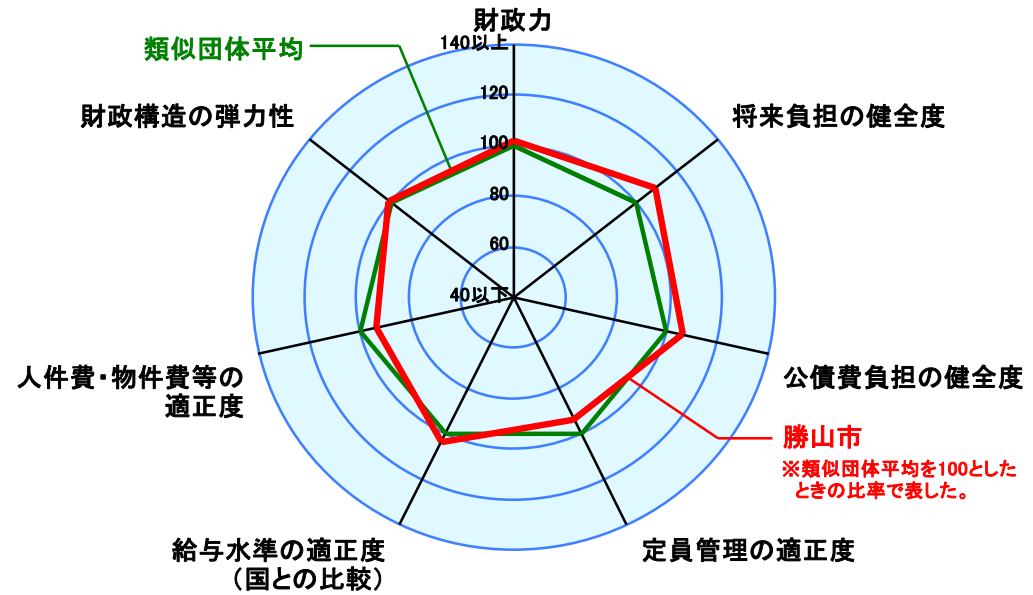
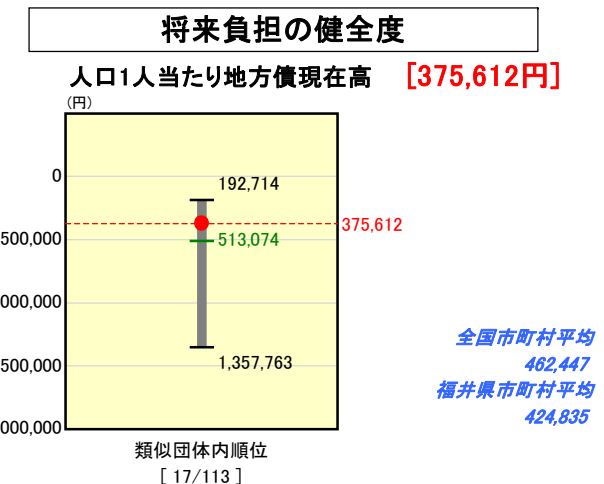
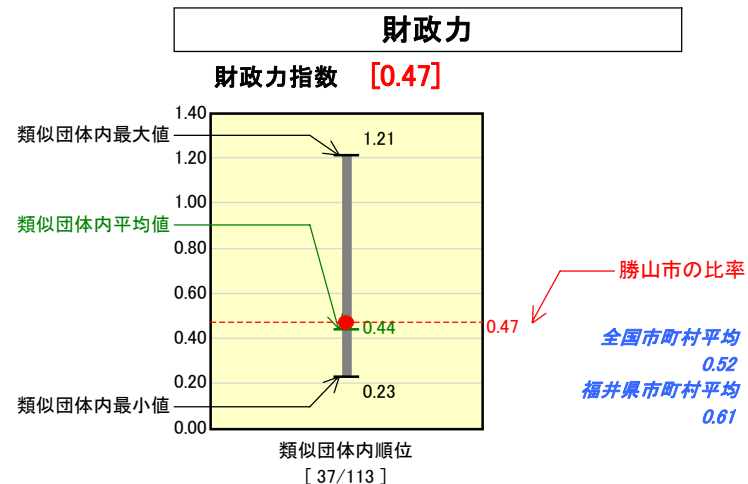


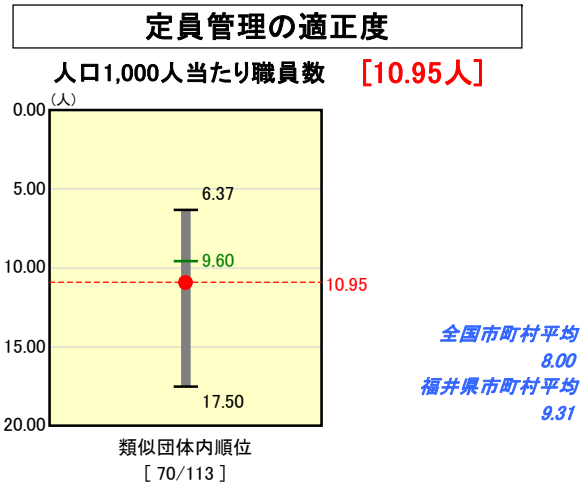
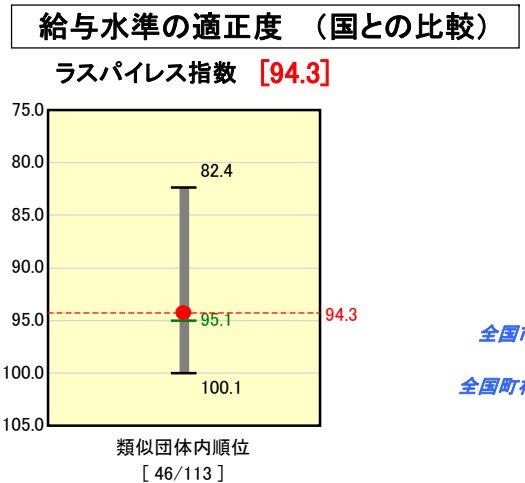
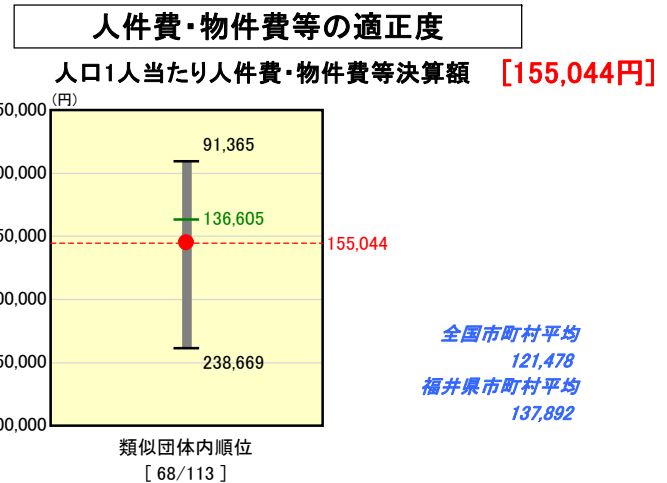
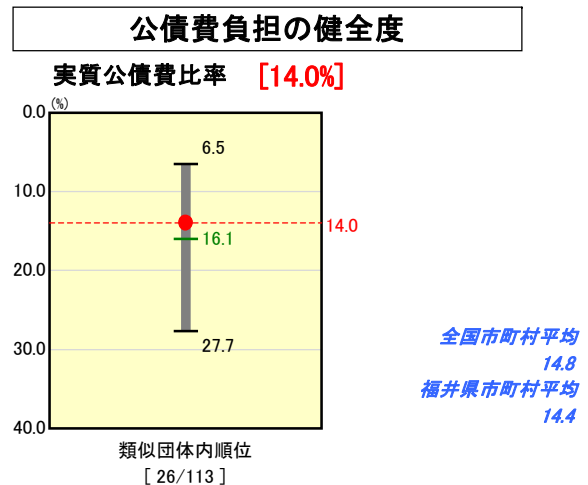
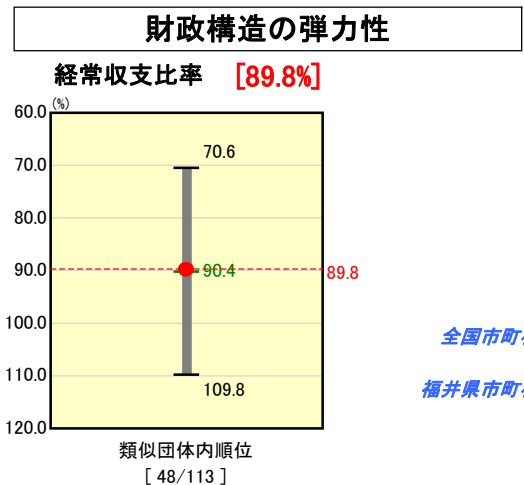
# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福井県 勝山市

人口	27,408	人(H18.3.31現在)
面積	253.68	km <sup>2</sup>
歳入総額	12,278,389	千円
歳出総額	11,881,928	千円
実質収支	372,559	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

- 財政力指数**  
 3か年平均では昨年度と比較して、0.01ポイントの減となったが、単年度で見ると0.03ポイントの増となっている。これは、法人税割の増収・所得課税の増等によるものである。今後も平成18年3月に策定した「滞納整理マニュアル」に基づき適正かつ的確に滞納整理事務等を執行し、歳入確保に努める。
- 経常収支比率**  
 経常経費充当一般財源は、扶助費・維持補修費(平成18年豪雪による除排雪経費)の影響により大幅に増加したが、シーリングを設定して徹底した歳出削減を行った結果、類似団体平均とほぼ同じとなった。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
 平成17年度に導入した事務事業評価システムにより行政改革の進行管理を行い、効率的な財政運営に努めたが、類似団体平均を上回る結果となった。今後も指定管理者制度の導入などにより更なるコスト削減に努める。
- ラスパイレース指数**  
 類似団体平均を下回っている。今後とも国に準じた適正な給与体系を維持していく。
- 人口1人当たり地方債現在高**  
 近年、臨時財政対策債の借入により地方債残高は増加傾向にあったが、福祉健康センター建設事業の終了により新規発行額が減少したため、昨年度を下回った。しかしながら、人口減少の影響により人口1人あたり地方債残高は増加する結果となった。
- 実質公債費比率**  
 普通交付税に算入される地方債の選択や金融機関等からの低利の借入により、類似団体平均を2ポイント以上下回る健全度となっている。今後は、普通建設事業等に係る起債の償還等に併し悪化することが予想されるため、予算配分の効率化と重点化を図り、更に健全財政運営に努める。
- 人口1,000人当たり職員数**  
 類似団体平均を上回っているが、平成16年2月に策定した行財政改革大綱並びに昨年度策定した集中改革プランに沿って、平成14年度と比較し10か年で職員数を52人、人件費総額を15%削減する。なお、当市では消防業務を共同処理せず、市単独で行っていることから、消防職員37人(1,000人当たり1.35人)が普通会計に計上されている。なお、職員削減の実績は、前年度比較で普通会計、特別会計を含む勝山市全体で10人となっている。